



T

退院後も

T

つなぎます

A

あなたの

K

ところからだ

3月15日号
地域連携室発行

3月は別れと旅立ちのシーズンですね。

わくわくしながらも不安な気持ちを抱えて新しい世界への第一歩を

踏み出したあの頃を思い出しませんか？

我がTTAK新聞も本年度最後となりました。

今回は『日本医科器械学会第2種滅菌技士』を取得されました

磯川 美香 さんにお話を聞いてきました。



特集！有資格者に聞く！

手術室・中材看護師 磯川 美香 さん 『日本医科器械学会第2種滅菌技士』

Q: 磯川さんこんにちは！今日はありがとうございます。

前回 香山さんにもインタビューさせていただきましたが、手術室では滅菌供給の知識はとても重要な資格なのでしょうね。

早速ですが、「日本医科器械学会第2種滅菌技士」の資格はいつ取得されましたか？

A: 平成18年の1月です。

Q: なぜこの資格を取得しようと思われたのですか？

A: 現在、滅菌業務に携わっており、今後とも新しい知識を深めていきたいのと患者様に安全な医療を提供していきたいからです。

Q: では資格の内容を教えてください。

A: 日本医科器械学会が認定している資格で第1種と2種があります。

この制度は医療施設に関連した滅菌供給の知識と実践に優れた技士を養成し、学会として認定することにより人類の健康と福祉及び医療の安全に貢献することを目的としています。



Q: 滅菌供給の知識と実践により、私たちは安心して医療を提供できているのですね。
では、受験に際してどのような準備をされましたか？

A: 指定されたテキストを購入しました。勉強にかかった費用は 40,000 円です。

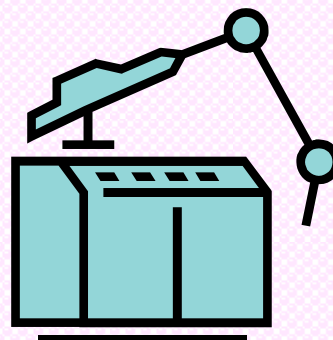
Q: 受験勉強される上で苦労したことはありますか？

A: 業務が終わってから自宅に帰り、睡魔と闘いながら勉強するのが
きつかったです。



Q: 資格の更新に必要な手続きとかはありますか？

A: 認定を受けてからの4年間も引き続いて医療現場の滅菌供給
業務に貢献し、4年間で学会や講習会に参加し、30単位を
取得しなければ更新できません。



Q: 更新するのにも絶え間ない努力が必要なのですね。
それでは、最後に今後の抱負をお願いします。

A: ぜひ、その上の第1種滅菌技士の資格を取りたいです。

ありがとうございました。

昨年、新しい「オートクレープ」が導入されましたね～。

滅菌業務が安心して患者様に提供できるのは陰で常に厳しいリスク管理が出来ているからなのですね。



さて、次回のTTAK新聞は

管理栄養士

大原 みのり さんの

『栄養情報担当者(NR)』です！

おたのしみに♪♪

来年度もTTAK新聞はコメディカルの活躍や情報をお届けします。

今後ともよろしく申し上げます！！

TTAK新聞のバックナンバーは、播磨病院ホームページ

<http://www.harima-hp.jp/main.htm> からご覧いただけます

by Y・M